

# 平成27年度 事業計画

## I 基本方針

平成27年度は、第4期5年間の指定管理者の初年度であると同時に開館25周年を迎える記念すべき1年である。25年間の運営経験を生かした魅力ある新規事業への挑戦と、定番事業の更なる充実をバランス良く配置し、安心と安全を確保しながら、新鮮で斬新な事業展開を図る。

「子どもファースト！～遊びを通したすべての子どもたちの育ちを継続的に応援します～」を基本理念に掲げ、5年間において県内唯一の大型児童館として、情報発信を一層強化し、児童福祉の総合拠点としての機能と役割を果たしながら、事業を実施する。

また、遊びを通して子どもたちが育ち、やがて大人になり、親となり、子どもと共に再び児童会館を利用するという1人ひとりのライフステージに合わせた切れ目のない継続的な「子育て・子育て支援」に取り組んでいく。

なお、学校長期休暇中の月曜開館を継続すると共に、夏期休暇中の閉館時間を1時間延長し、より多くの来館者が利用しやすい環境を整えていく。

## II ぐんまこどもの国児童会館 ホスピタリティ10か条

児童厚生総合施設としてホスピタリティの精神を持ちながら、利用者の目線に立った安心安全な施設運営を行い、サービスの向上を図る。

### 【 ぐんまこどもの国児童会館 ホスピタリティ10か条 】

- ① 子どもファースト！主役は子どもたちです。
- ② 元気な挨拶から全ては始まります。
- ③ 明るい笑顔で温かく迎え入れます。
- ④ 親切で丁寧な言葉かけを行います。
- ⑤ 心を込めて感謝の気持ちを伝えます。
- ⑥ いつも心に「おもいやり」を持ち続けます。
- ⑦ 1人ひとりの個性を尊重します。
- ⑧ 全ての利用者の声に耳を傾けます。
- ⑨ 利用者目線で事業を企画・実施・改善します。
- ⑩ 専門性の向上に努め利用者を支援していきます。

## III 事業体系図

事業実施にあたり、育成事業（スペースシアター等施設の機能を活かした各室の運営など）と推進事業（地域児童館活動促進や地域の健全育成環境促進など）に体系化し、柔軟で効率の良い運営に努める。

	区 分	実 施 区 分
育 成 事 業	企画事業	わくわくランド事業
	サイエンスワンダーランド運営 こども図書室運営 食育体験事業	まなびランド事業
	クラフトルーム運営 プレイルーム運営 ビデオライブラリー運営 パソコンルーム運営	あそびランド事業
	スペースシアター運営 多目的ホール運営 体力増進事業 ふれあい仲間作り事業	わくわくランド事業

区 分		実 施 区 分
推 進 事 業	児童館活動促進事業	群馬県児童館連絡協議会事務局 児童厚生員等研修会 児童館フェスティバルの開催
	ネットワークづくり事業	移動児童館事業
	組織化事業	ボランティア、ジュニアスタッフの育成 地域子育て支援者向け講習会
	調査研究事業	サービス向上委員会 障がい児応援プログラム調査研究
	児童文化推進事業	ぐんまこどもの夢大賞 異文化交流事業
	子育て相談事業	子育て相談室
	広報啓発事業	子育て情報誌「にこっと通信」の発行 誘客キャンペーンの実施

なお、平成27年度の数値目標を次のとおりとする。

項 目	年 間 目 標 値	平成26年度実績(見込み)
入館者数	36万人	35万人
プラネタリウム利用者数	5万2千人	5万人
移動児童館利用者数	5千3百人	5千2百人
ボランティア登録者数	100人	91人

#### IV 利用区分

事業区分	事 業 の 内 容
一般事業	一般の児童・保護者等を対象とする自由利用及び季節的な催し等の事業
講座・クラブ事業	特定の課題・テーマについて、公募により参加者を特定し実施する事業
グループ事業	保育所・幼稚園、小中学校の園外活動、校外活動における集団利用

## V 事業展開

### 1 育成事業

#### (1) 企画事業（企画行事・企画展示）

##### 実施方針

- ・学校の長期休暇や季節行事にあわせて、全館体制で取り組む大型イベントで、施設の機能と特性を最大限活用し、健全育成を加味した子どもから大人まで楽しめる話題性の高いイベントを公園（こどもの国）をはじめとする県有施設や関係機関と連携を図りながら、実施する。
- ・開館25年を迎えるにあたり、今まで支えてくれた方々へ感謝を込めて、各種記念事業を行う。

#### ■事業計画

事業名	期間	時期	事業概要	会場	備考
ゴールデンウィーク企画	14日間	4～5月	当館をPRできる大型企画事業として、多くの来館者が楽しめる体験型イベントと児童福祉週間を啓発する	多目的ホール他	
夏の特別企画	24日間	8月	夏の大型企画として、幅広い年齢層の子ども達が楽しめるものをテーマにして開催する	多目的ホール他	
こどもの国のお正月	8日間	1月	ジュニアスタッフやボランティアの協力を得て正月にちなんだ遊びや伝承遊び等を実施する	多目的ホール他	
春のこどもの国フェスティバル	12日間	3～4月	体を使ってダイナミックに遊び、学年を超えたチャレンジ精神を養う遊びを取り上げ実施する	多目的ホール他	
開館25周年記念事業	2日間	10月	記念式典並びに記念事業、ノベルティの配布等を行い、感謝を伝える	多目的ホール他	新規
親子ふれあい自然活動	1回	6月	親子で自然にふれあう機会を提供する。父親の参加を積極的に募り、育児参加を促す	東毛青少年自然の家	
こどもの国ドリームステージ	1回	9月	金山総合公園と共催で、著名なゲストやキャラクターを招き、夢と感動を与えられるステージやイベントを開催する	公園野外ステージ	
シルバーウィーク企画「世代間交流イベント」	5日間	9月	「敬老の日」を含む5連休に、子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで幅広い年齢層が楽しめる、ふれあい遊びの場を提供する	多目的ホール他	新規
こども観劇会	1回	10月	プロの劇団等を招いて、良質な劇や音楽に触れる機会を提供する。また、午前の部は、県内特別支援学校や支援学級に通う子どもを招待する	多目的ホール	
こども劇場	15回	随時	アマチュア劇団や地域のサークル、学生等による人形劇や音楽演奏、アクションショー等を行う	多目的ホール他	
ぐんまこどもの夢大賞入選作品展	2週間 10日間	11月 12月	「ぐんまこどもの夢大賞」で募集した作品の中から入選作品を展示する また、県庁展望ホールでの展示も行い、県中部や西部地域の応募者の利便性を図る	研修室、ギャラリー 県庁	

事業名	期間	時期	事業概要	会場	備考
コズミックカレッジ in ぐんまこどもの国	1回	8月	JAXA宇宙教育センターと連携し、宇宙をテーマにした体験型の科学プログラムを実施する	研修室他	新規 共催
ぐんま母親クラブフェスティバル	1回	5月	ぐんま地域活動連絡協議会と共催で、県内で活動をしている母親クラブの紹介と発表を行う	多目的ホール他	共催
ぐんまウォーターフェア	3日間	8月	群馬県と共催して、水や水力発電所等の水資源施設の理解を深めるための展示を開催する	多目的ホール	共催
子どもの医療講演会	2回	11月	東部保健福祉事務所と共催で、小児科医の救急医療講演会を行い、救急医療の理解を図る	研修室	共催
ぐんまこどもの国にフォーミュラカー&小暮卓史がやってくる!!	1回	11月	群馬県出身のレーシングドライバーの小暮卓史氏を招き、レースに使用している車両展示や乗車撮影会、交通安全トークショー等を実施する	ピロティ他	共催
クリスマスコンサート	1回	12月	金山総合公園と共催で、地域の人材をいかした活動発表会や多世代が楽しめる参加型コンサートを開催する	多目的ホール	共催
OLCこどもまつり	1回	2月	太田リーダークラブと共催で、中学・高校生ボランティアによる手作りゲーム等参加者交流イベントを開催する	多目的ホール他	共催

## (2) 各室運営

### ①サイエンスワンダーランド運営

#### 実施方針

- ・常設の科学展示装置を自由に利用しながら、子ども達に科学への興味関心を刺激する（経年劣化した展示装置は、来館者アンケートなどを活用し、長期的な更新計画を進める）。
- ・低学年を対象とした科学講座に加え、大人向けの科学講座を実施し、家庭でも身近に科学にふれる機会が作れるように努める。
- ・地元の工業高校や高専、専門の技術をもった団体の協力等を得て、実験や工作を通して小さな頃から科学やものづくりにふれ、親しむ環境づくりを整える。

#### ■事業計画

区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
一般事業	常設展示	通年	来館する児童に、常設の科学展示装置を自由に利用してもらう	常設展示室	
		4～11月	つくば科学万博記念財団より、科学に関する展示物を借用し、来館者に自由に利用してもらう	常設展示室	共催
	巡回展示	9～11月	関係機関の協力を得て、障がい者スポーツをテーマにしたパネル等を借用し、活用を図る	3階ギャラリー他	新規共催
	ハイビジョンシアター	通年	幼児、児童向けに優良番組を選定してCS放送等による上映を行う。また映像の観覧だけでない利用方法を積極的に行う	ハイビジョンシアター	
	サイエンスショー	随時	「プチサイエンスショー」 身近な科学現象を題材にしたショーを実演する	ハイビジョンシアター	
		2回	「スペシャルサイエンスショー」 講師を招いて、楽しい科学ショーを行う。 1回は25周年記念事業として科学分野のスペシャリストを招いて開催する	多目的ホール他	新規
	太工フェア IN ぐんまこどもの国児童会館	1回	県立太田工業高等学校の協力のもと、生徒が設計したロボットの操作や省エネカーの試乗など、参加体験型のコーナーを設ける	多目的ホール	共催
	がんばれ群馬のものづくり	1回	おおた夢工場の協力のもと、幻の旅客機富嶽の展示やエンジン始動、紙飛行機の工作などを行う	多目的ホール	共催
	太田発明くふう展	1回	太田市内の児童生徒から一般の部まで、創意工夫あふれる入賞作品を数十点を展示する	研修室	共催
ぐんまちゃんのプラモデルを作ろう	1回	群馬県産業技術センターで作成したぐんまちゃんのプラモデルの色づけを行う	研修室	共催	
講座・クラブ事業	科学工作	5回	身近な素材を利用した科学に関連した工作を行う	展示室他	
	科学講座	7回	関係施設等の協力や企業と協働し、講師を招いて、専門的な科学の講座を開催する。また、幼児から低学年向けや大人を対象とした講座も実施する	研修室他	共催
	おもしろ科学教室	4回	県立生涯学習センターの開発したプログラムを、サイエンスインストラクターの会東毛支部の指導のもと、共催で実施する	研修室	共催
	太工の生徒による「ロボット教室」	1回	県立太田工業高等学校の生徒が講師となり、高校教諭監修のもと、ロボット作り教室を行い、子ども達にもものづくりの楽しさを伝える	研修室	共催

轄区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
グループ事業	団体利用	通年	科学工作や科学実験ショーなど、特色あるものを実施する	ハビジョンシアター他	

## ②スペースシアター運営

### 実施方針

- ・ぐんま天文台他関係機関と連携して、幼児から大人まで幅広い層の利用者が、星や宇宙に楽しめるプラネタリウムを提供する。
- ・移動プラネタリウムでは、県内各地への巡回及びスペースシアター休止時の対応を行い、充実を図る。
- ・学年に応じた団体向けの学習投影を行い、幼児・児童の天文に対する興味を持てるようにサポートするとともに、星を楽しむ空間を体験してもらう。

### ■事業計画

轄区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
一般事業	プ 一般番組	通年	幅広い年齢層で楽しめる娯楽性の高い一般向け番組を投影する	スペースシアター	
	ラ 幼児番組	通年	幼児や親子でも楽しめる分かりやすく親しみやすい番組を投影する		新規
	ネ こども番組	通年	子ども達の嗜好や話題性を加味した優良な番組や人気の高い番組を投影する		
	タ オリジナル番組	通年	土日祝日及び春・夏・冬休み期間に、季節の星空解説を主とした自主製作番組を投影する		
	ウ ほしぞらさんぽ	通年	土日祝日及び春・夏・冬休み期間に、季節の星空解説を主とした自主製作番組を投影する		
	ム 夏休み特別番組	7～8月	夏休みの開館時間延長にともない、期間限定で特別番組を投影する		新規
	企画投影	随時	通常の投影では取り上げる機会の少ない天文テーマや番組等を単体企画として投影する		
	カップルデー	12月	クリスマスにあわせて、有料観覧者2人のうち1人に対して、招待券をプレゼントする		
	星空コンサート	随時	星空と音楽を組み合わせるコンサートを行い、幼児から高齢者まで楽しめる企画を実施する		新規
	親子プラネタリウム	2回	乳幼児と保護者を対象に、親子遊びや歌遊びなど取り入れてプラネタリウムの星空を体験してもらう		新規
こども宇宙教室	1回	ぐんま天文台と連携し、身近な宇宙や天文現象などをテーマにわかりやすく解説をしてもらう	新規		
移動プラネタリウム「にこっとドーム」	随時	障がい児施設など各種団体等を対象に県内各地に巡回し、プラネタリウムを体験できる場と機会を設ける他、保守点検や番組入れ替え時、他会場にて季節の星空解説と神話の投影を行う	県内各所 多目的ホール		

事業区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
講座・クラブ事業	星空観察「スターフレンド」	5回	その時期に見える星や天文現象などを題材に、プラネタリウムやプロジェクターを使った解説のあと、実際に天体観測を行う	スペースシアター公園	
	天文観望会	2回	県内のプラネタリウム等の関係機関と連携して行う「ぐんま星まつり2015」、太田市こども館と連携した昼間見える天体の観望会等を行う	スペースシアター他	共催
	つくろう！伝えよう！みんなでプラネタリウム	随時	主に天文部のある中学・高校等に呼びかけて、星空解説、活動成果をドーム内で表現し、参画型プラネタリウムの場とする	スペースシアター	
	ぐんま天文台ツアー	1回	専門施設ならではの宇宙や天文に触れる機会を提供する	ぐんま天文台	
グループ事業	プラネタリウム団体投影	通年	幼稚園・保育園・小学校等の各種団体を対象に、当日見える星空の生解説や学年に合わせた学習番組の投影を行う (幼稚園・保育園 47 団体 2,377 人) H26 年度実績 (小学校 95 団体 7,876 人)	スペースシアター	

### ③クラフトルーム運営

#### 実施方針

- ・子ども達が、物を作り上げることに関心を持ち、自分で考え、想像し、表現することができる空間作りを行うとともに、高学年児童や生徒に向けて、興味・関心を引き出す多彩なプログラムを取り入れて事業を展開する。
- ・制作過程を通じ、子ども達や保護者と積極的に関わり、子ども達のニーズやプログラムのヒントを得るとともに、コミュニケーションを図る。

#### ■事業計画

事業区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
一般事業	自由利用	13 プログラム	身近にある素材を使用した、幅広い年齢層に対応できるプログラムを実施する。造形コーナー、折り紙コーナー、落書コーナーも併せて設置する。 (利用者のリピート率を上げるため、1プログラム1回の押印で、スタンプをためると特典が付くという「わくわくブック」を引き続き行う)	クラフトルーム	
	季節行事	6 プログラム	季節行事(こいのぼりなど)に併せて、幅広い年齢層に対応できるプログラムを実施する	クラフトルーム	
	わくわくワークショップ	4回	自由利用では体験できない制作過程の多い工作を取り上げて行う	第1研修室	
	つなごうワーク	1回	「つなぐ」をテーマに1つの大きな作品を来館者と作り上げ、制作過程の楽しさ、完成した喜びを感じてもらう	2階フロア、ギャラリー等	
	おたんじょうてがた	12回	スタンプ絵の具を用いて色紙に手形をつけ、保護者または子どもが自分で好きな言葉を添えた作品を制作する	第2研修室	

事業区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
講座・クラブ事業	造形教室	4回	夏休み期間中や土日を中心に、高学年児童や中高生が時間をかけて取り組める完成度の高いプログラムを実施する	第1研修室	
	造形ワーク1・2・3	1コース(3回)	小学4年生以上の子ども達を対象に、少人数の異年齢集団の交流を図りながら、そこでしか体験できないプログラムを取り入れて行う	研修室	
グループ事業	団体利用	通年	各種造形のプログラムを実施し、団体利用に対応する	クラフトルーム研修室	

#### ④プレイルーム運営

##### 実施方針

- ・施設の機能を活かしながら、現在の子育て事情に照らし合わせて、利用者のニーズに添った良質の遊びのプログラムを提供し、楽しさと想像力を体験できる事業を展開する。
- ・平日は主に乳幼児と保護者を対象とした子育て支援プログラムを行っていく他、マタニティー期の母親を対象とした事業を行い、早期から子育てサポートを行う。
- ・共働き家庭の増加に伴い、子育ての担い手として祖父母世代の関わりが増加しつつある中、どのようなニーズがあるか調査し、事業化していく。
- ・指導員は利用者と積極的に関わり、気軽に相談等できるような雰囲気作りを行う。

##### ■事業計画

事業区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
一般事業	自由利用	7プログラム	各種大型遊具等を定期的に入れ替えし、自由遊びの場を提供する(定期的に準備休を設け、遊具の入れ替え、清掃点検を行う)	プレイルーム	
	おもちゃコーナー	通年	乳幼児向きの各種優良玩具を配置して、自由遊びの場を提供する(定期的に準備休を設け、遊具の入れ替え、清掃点検を行う)	第2研修室	
	だんらん広場	通年	オセロ、将棋等のボードゲームを配置し、幅広い年齢層向け自由遊びのコーナーを設ける	2Fロビー	新規
	おやこサロン	20回	①「乳児コース」親子遊びを取り入れ、子育て相談員による子育て相談や母親同士の交流を図る。 ②「幼児コース」リズム遊びや運動遊びの他、隔月で貼る、描く、ちぎるなどの簡単な工程でできる工作を実施し、発達に合わせたプログラムを展開する	多目的ホール研修室	新規
	あそぼうタイム	随時	伝承遊びや集団遊びなど参加年齢層に合わせたプログラムを行う。保護者も参加し、多世代に渡り遊べるような工夫を凝らす	多目的ホール研修室	



事業区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
講座・クラブ事業	いきいきママ講座	9講座	子育て中の母親や子育てに携わる人を対象に、育児に役立つ実技・講義のほか、参加者がリフレッシュできるような講座を行う。また、関係機関と連携して託児を行い、育児中の母親が気軽に参加できる機会を提供する	研修室 多目的ホール	
	マタニティママの準備はOK!	随時	地域の保健センター等で開催している「母親学級」に職員が出向き、こどもの国の利用案内や親子ふれあい遊び等の紹介を行い、早期からの子育てサポートを行う	保健センター等	新規
	じいじ・ばあばのはつらつ孫育	随時	子育ての重要な担い手である祖父母世代に着目し、児童会館としてどのようなニーズがあるかを調査し事業化していく		新規
	わくわくパパ講座	随時	父親を対象に、遊び方や子どもとの関わり方の他、育児に役立つ講座等を行い、父親の育児参加のきっかけづくりとする	研修室 多目的ホール	
	太田マザー&チャイルド	12回	東部保健福祉事務所と共催で、毎月1回、発達がゆっくりな子どもと保護者を対象に、体操や音楽療法、工作等の集団遊びの場を提供する。10月はファミリーフェスティバルとして実施する	研修室	共催
グループ事業	団体利用	通年	リズム遊びなどの団体向けプログラムを提供する	多目的ホール他	

## ⑤ビデオライブラリー運営

### 実施方針

- ・映像を見るだけでなく、制作や遊びの活動に発展させた映像ワークショップや映像教室のプログラム開発に取り組み、子ども達に様々な映像体験の場を提供する。
- ・幼児から中高生までの子どもたちが楽しめるようなDVDソフトの充実を図っていく。
- ・上映会では平日に母親が楽しめる映画を選定するほか、乳幼児の親子が楽しめる内容も盛り込む。

### ■事業計画

事業区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
一般事業	自由利用	通年	優良なビデオやDVDを揃え、好きな番組を選び自由に視聴できる場とする	ビデオライブラリー	
	平日ママのホットシター	2回	乳幼児連れの親子が気兼ねなく映画を楽しめる場を提供する	研修室他	
	こども映画会	随時	優良な16mm映画フィルムやDVDの上映を行い、大勢で楽しめる場を提供する	多目的ホール他	
講座・クラブ事業	わくわく映像教室	随時	講師によるアニメーションをテーマに映像の仕組みや作り方等についてのお話を聞いた後、実際に制作を通し、その不思議な仕組みを体験する	第1研修室	

事業区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
グループ事業	団体利用	通年	16mm映画フィルムやDVDの上映を行い団体利用に対応する	研修室他	

## ⑥パソコンルーム運営

### 実施方針

- ・幅広い年齢層が満足感を持ち、パソコンに慣れ親しめるような運営を行っていく。
- ・パソコンルーム機器の特性を生かした効果的な運営を行う。

### ■事業計画

事業区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
一般事業	自由利用	通年	8台のパソコンで学習ソフトやゲームソフトを利用者が選択して体験するほか、家族で楽しめるプログラムの開発を行う。また、2台のパソコンは常時インターネット閲覧用とする	パソコンルーム	
	パソコンプログラミング	通年	アプリケーションソフトを利用し設計図通りにブロック等を組み立て、制作した物を動かす	パソコンルーム	
	パソコンクラフト	4回	パソコンソフトやインターネットを利用して、ペーパークラフトなどの制作を体験する	パソコンルーム	
講座・クラブ事業	パソコン工房	11回	ファミリーペイントやお絵かき、ぬり絵などの機能を利用して製作した作品をプリントして持ち帰る	パソコンルーム	

## ⑦こども図書室運営

### 実施方針

- ・季節の本や話題性のある図書などのピックアップコーナー、中高生が参考となる書籍の配架を行い、幼児から大人まで誰もが利用しやすい図書室の環境作りを行う。
- ・絵本を通じて親子がゆっくりとふれあう場を乳幼児期から提供し、子どもの成長過程に応じた絵本に関する興味を引き出すプログラムを取り入れて事業を展開する。

### ■事業計画

事業区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
一般事業	自由閲覧	通年	月刊誌、絵本、児童書、育児書、紙芝居などの図書を、来館者が自由に閲覧する。また、定期的な棚卸しを行い、図書の適切な管理に努める	こども図書室	
	おはなしのへや	6回	ボランティアの協力を得て、絵本の読み聞かせ、紙芝居の上演、手遊び、折り紙工作等を行う	第2研修室	

事業区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
	おはなしのへやデラックス	4回	ボランティアの協力を得て、大型画面での読み聞かせの他、合間にエプロンシアターやパネルシアター等を行う	ハイビジョンシアター	
	おはなしひろば	11回	ボランティアの協力を得て、平日の午前、赤ちゃん絵本の読み聞かせ、図書案内を行い、本に馴染みの少ない親子にもきっかけづくりの場を提供する	こども図書室 研修室	
	自転車紙芝居	2回	ボランティアの協力を得て、自転車紙芝居舞台を利用して紙芝居上演を行う	公園	
	怪談こわい話	1回	ボランティアの協力を得て、ハイビジョンシアターにて体験談や民話、都市伝説などの語りを行う	ハイビジョンシアター	
	ブックトーク	1回	読書アドバイザーによる、テーマにそった本の紹介をする	図書室	新規
講座・クラブ事業	絵本のワークショップ	2回	読み聞かせの絵本にちなんだ工作等を開催する	研修室他	
グループ事業	団体利用	通年	読み聞かせや、読み聞かせの後に簡単な造形ワークショップを行う等のプログラムを実施する	ハイビジョンシアター他	

## ⑧体力増進事業

### 実施方針

- ・子どもの体力増進の一環として多目的ホールを有効活用し定期的に運動プログラムを取り入れていく。また親子での遊びにも視点をおいたプログラムを展開していく。
- ・金山総合公園を使って屋外での活動を積極的に行い、子ども達の体力の底上げを図る。
- ・地域で活躍する人気の高いプロスポーツ選手やチーム等を招いた各種イベントを開催し、アスリートを身近に感じることで、子ども達の夢と希望を育む。

### ■事業計画

事業区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
一般事業	チャレンジ！スポーツ	通年	ロッククライミングや縄跳びを有効活用すると共に、定期的に運動量の多い遊具を配置する	多目的ホール	
	バトル！スポーツ	随時	水鉄砲バトルなど、運動にゲーム性を加え、楽しみながら競えるイベントを実施し体力増進を図る	公園 多目的ホール	
講座・クラブ事業	世界にはばたけ！未来のこどもたち	2回	アスリートを招き、スポーツ選手と触れ合う機会を作り、各種スポーツへの親しみを喚起する	公園	新規
	ぶらり親子でさんぽ	1回	金山総合公園や金山周辺を利用して、親子で自然に触れながら散策し、体力の底上げを行う	金山周辺	新規
	親子スキーツアー	1回	親子スキーバスツアーを実施し、親子の交流を図るとともに、スキーを通して体力増進を図る	軽井沢スノーパーク	

## ⑨食育体験事業

### 実施方針

・食育月間を6月に設け、地元企業や関係機関と連携して、食に関する興味・関心を高める内容の食育事業を実施するほか、館内でも食育に関連した事業を行い食育の推進を図っていく。  
 ・「毎月19日は家族でいただきますの日」の普及を年間を通じて行い、子ども達が孤食に陥ることのないよう家族で考える機会を提供していく

### ■事業計画

事業区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
一般事業	毎月19日は家族でいただきますの日	随時	土日に重なる月の19日に「栄養専攻の学生による食育あそび」などの食育イベントを行う	研修室等	新規
	クラフトルーム自由利用プログラム	3週間	食をテーマとした工作を行うことで、制作を通じた食育を実践する	クラフトルーム	
	親子で挑戦！食育クイズ	1回	食に関するクイズ等に親子で取り組み、楽しみながら食育の習得とコミュニケーションを図る	館内各所	
講座・クラブ事業	親子ふれあい自然活動	1回	親子で野外における食事作りと野外活動を通し、親子の交流を図る	東毛青少年自然の家	
	ファイブ・ア・デイ食育体験ツアー	1回	近隣のスーパーを会場に管理栄養士の講話と売り場での買い物ゲームやサラダの調理を行い、バランスの取れた食生活を体験する	とりせん城西の杜店	共催
	親子おいしい工場見学	1回	地元の食品工場の見学や製作体験を親子で行い、自然への感謝する気持ちや生産工程を間近に感じることで、食育への興味を促す	東毛酪農	共催

## ⑩ふれあい仲間作り事業

### 実施方針

・異年齢児交流の場を設けると共に、高学年児童生徒向けの講座を行う。  
 ・安心して自由に思い切り遊べる「空間」と「時間」を、遊ぶことにより「仲間」を作り共感しあえる場の提供に努める。

### ■事業計画

事業区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
一般事業	多目的ホール活用	随時	①「カプラであそぼう」魔法の積木“カプラ”を配置し、自由遊びの場を提供する ②「ドミノに挑戦！」ドミノを配置し、自由遊びの場を提供する	多目的ホール	
	ふれあい広場	随時	来館者の飲食等休憩場所として開放する	第1研修室	

事業区分	事業名	回数	事業概要	会場	備考
	とことん外であそび隊！	随時	外遊び機会を定期的に設定し、「時間」「空間」「仲間」を作り合える場を提供し、子どもの自主性と社会性を育む。また子どもの体力底上げも図る	公園	新規
講座・クラブ事業	中高生の居場所づくり（中高生デー）	随時	中学生・高校生を対象に、興味のあるものや得意なものを見つけられる事業の調査研究をおこない、中高生にとって心地のよい居場所づくりの環境を整えていく	研修室他	新規
グループ事業	団体利用	通年	カプラ及びドミノを用いてワークショップを行い、共同製作の楽しさを体験してもらう	多目的ホール他	

## 2 育成環境づくり事業

### (1) 児童館活動促進

#### 実施方針

・県内の中核児童館としての機能を生かし、地域の児童館との連携・信頼関係を生かしたネットワークづくりを推進し、児童館活動の充実強化と運営水準の向上を図る。

#### ■事業計画

事業名	回数	事業概要	会場	備考
児童健全育成講演会	1回	一般及び児童健全育成関係者を対象に有識者を招き、講演会を開催する	多目的ホール他	
群馬県児童館連絡協議会運営	通年	地域児童館との連携提携を図り、児童館の情報収集・児童館職員研修等を行う県児連を運営し、児童館活動を推進するとともに、児童厚生二級指導員資格認定事務を行う	—	
群馬県内児童館フェスティバル	1回	県内の児童館が一堂に会して、地域の児童や児童館職員等の参加による各種行事を行う	多目的ホール他	
群馬県内児童館ミニフェスティバル	2回	「群馬県内児童館フェスティバル」で好評だった各種プログラムを、地域児童館や児童館未設置市町村等で開催する	県内児童館及び市町村等	
児童厚生員等研修会	4回	児童厚生員、児童クラブ指導員等の資質向上を図るため、理論と実技科目の研修会を実施する	研修室他	
遊びの指導技術開発研修	1回	児童健全育成関係者の資質向上を図るため、新しい遊び等について研修会を実施する	多目的ホール他	
児童館職員交流研修会	1回	児童館職員の資質向上を目指し、討議や意見交換等を行い交流を図る	研修室	
児童館訪問	随時	県内児童館を理事長及び館長が訪問、児童館職員との意見交換を行い、地域ニーズの掘り起こしと交流を図る	県内児童館	新規

事業名	回数	事業概要	会場	備考
遊具等貸出	随時	児童館活動に必要な大型遊具・映画フィルム・DVD等を取りそろえ、地域の児童館や健全育成関係団体等に貸し出す	—	

## (2) ネットワークづくり事業

### 実施方針

- ・県内の子育て支援関係団体や機関・関係者とのネットワークの構築と連携強化を図り、移動児童館を利用して地域の児童健全育成の向上を図る。
- ・県内児童館を中心とする子育て支援情報等を集約した冊子を作成し、児童の健全育成団体等に配布することにより、県内の子育て文化を広く発信する。

### ■事業計画

事業名	回数	事業概要	会場	備考
プレーバス巡回(移動児童館)事業	通年	県内各地域にわくわく号(プレーバス)を巡回し、多くの子ども達が児童会館の遊びのプログラムやプラネタリウムを体験できる場を設ける	県内各所	
「ぐんまの子ども遊び場紹介」発行	1回	県内児童館を中心に、子育て支援に関する情報を冊子にまとめ、児童の健全育成関係機関に配布する	—	
児童劇団等の登録・派遣	通年	県内優良児童向劇団等を選定し、登録を行う	—	
	6回	登録した劇団等を県内各地域に派遣して、鑑賞事業やあそびの出前として実施する。 「人形劇」や「泥だんご遊び」等を実施予定	県内各所	

## (3) 組織化事業

### 実施方針

- ・地域の子育て支援関係団体や児童健全育成に関わる機関・関係者に働きかけ、児童健全育成の向上と健やかな子育て、親育ちのための支援を行う。
- ・施設ボランティア運営においては、登録者数の増加と活動の充実を図る。
- ・子どもたちの異年齢交流の場、自主的に計画し活動できる場としての「ジュニアスタッフ」は、「まるごと1日こどもデー」の主体として企画実施し、活動を活発化させていく。

### ■事業計画

事業名	回数	事業概要	会場	備考
地域子育て支援指導者等活動支援事業	1回	子育て支援センターや児童館、母親クラブ、主任児童委員等と連携して、子育て支援の課題を共有できる場としての実技講習会を実施し、地域子育て支援活動の活性化とネットワークづくりを行う	多目的ホール 研修室	
子育てサロン・こどもの国	9回	太田子育て支援ボランティアネットワークと協力し、遊びのプログラムや読み聞かせ、参加者との交流・相談等を行い、地域の子育て支援を実践する	第2研修室	共催

事業名	回数	事業概要	会場	備考
ぐんま母親クラブフェスティバル〜ひかってるネおかあさん〜	1回	ぐんま地域活動連絡協議会と共催で開催し、県内で活動をしている母親クラブの紹介と発表を行う	多目的ホール他	共催
ボランティア運営	通年	施設ボランティアの募集・登録を行い、様々な事業での補助や自主企画などで活動してもらう。 また、養成講座を行い、ボランティアの増加に努める	—	
ボランティア活動促進	通年	ボランティア活動の成果を発表する場として事業化して支援する。「おもちゃの病院」、「人形劇であそぼう」等自主企画の促進を図る	第2研修室他	
ジュニアスタッフ養成	通年	小中高生を対象に、ジュニアスタッフを養成し、子ども達の意見を取り入れながら、楽しい企画を立案・準備・運営を行う	研修室他	
「まるごと1日こどもデー」	1回	ジュニアスタッフが1日全フロアのスタッフとなり、来館者の接客や対応など、お仕事体験をする。	館内各所	新規

#### (4) 調査・研究事業

##### 実施方針

- ・「サービス向上委員会」を設置し、各種アンケートの取りまとめと結果の検証を行い、利用者のニーズの把握と改善を行う。また、外部委員会を設け、外部関係者からの意見を取り入れ、サービス向上を図る。
- ・障がい児応援プログラム調査研究プロジェクトチームでは、個性やニーズに合った適切な支援によって、その可能性が伸ばされるような遊びの開発や施設設備の改善を進める。

##### ■事業計画

事業名	回数	事業概要	会場	備考
サービス向上の取組	通年	各種アンケートの検証を行い、その結果を施設管理と事業運営へ反映し、サービス向上を図る	—	
①サービス向上委員会	随時	アンケート内容や結果の検証と、現場での改善策の協議を行う	—	
②サービス向上外部委員会	2回	より公平で中立な立場から、外部委員会において検討と改善を行う	—	
③ご意見箱の設置	通年	「利用者の声シート」に利用の感想や要望を自由記述してもらい、より具体的な事業運営や施設管理の参考とする	1Fロビー設置	
④利用満足度アンケート	随時	事業内容や運営方法、施設・設備等について来館者から意見や要望を聴取し、今後の事業運営やプログラム開発・改善に活用する	館内各階	
⑤モニタリングの実施	随時	保育園や小学校、地域クラブ等目的に応じてモニタリングを行い、ニーズの掘り起こしに活用する	—	新規

事業名	回数	事業概要	会場	備考
障がい児応援プログラム調査研究プロジェクトチーム	通年	遊びの開発や施設の利用方法を調査研究する	—	
おとどけ！児童館	通年	利用する機会の少ない障がい児通所施設や医療施設等を訪問し、施設を利用する子ども達に遊びを提供する	県内各地	新規

## (5) 児童文化推進事業

### 実施方針

- ・子ども文化の推進と豊かな情操を育むための場を提供する。
- ・異文化に親しみ、外国文化の理解を通して、子ども達の心の成長を促すとともに、世界の国々へ目を向ける場の提供を行う。

### ■事業計画

事業名	回数	事業概要	会場	備考
ぐんまこどもの夢大賞	通年	次世代を担う子ども達が未来にみる夢を絵画と童話作品を募集し、こども文化活動の振興を図る 広報：6～7月、作品募集：8月、 作品審査：9～10月、表彰式：11月中旬、 入選作品展：11月中旬～(児童会館、13日間) 12月上旬(県庁、10日間) 作品集作成：3月発行予定	多目的ホール、1・2階ギャラリー等 県庁展望ロビー	
開館25周年記念「ぐんまこどもの夢大賞作品集」発行	1回	開館25周年を記念し、第1回から昨年度まで最優秀賞受賞作品(絵画・童話)を掲載した作品集を発行する	—	新規
異文化交流事業	1回	遊びを通して、外国文化の多様性を感じたり、学ぶことで、多文化共生や国際交流について知るきっかけ作りとする。館内全体で、1日を通して色々な国の文化に触れるイベントを行う	多目的ホール他	

## (6) 子育て相談事業

### 実施方針

- ・月に1日、関係機関の臨床心理士を相談員とした子育て相談日を設け、相談事業の充実を図る。

### ■事業計画

事業名	回数	事業概要	会場	備考
こども相談室運営	通年	来所や電話により、育児やしつけ等の子育ての不安や心配事に関する一次相談窓口としての相談業務を行う。 「子育て相談室」では、臨床心理士や保健師を相談員とした子育て全般に渡る悩みや心配事に関する相談を行い、ケースにより専門機関に紹介する	保健室	



## (7) 広報啓発事業

### 実施方針

- ・当児童会館事業の周知や、児童健全育成に関する諸情報の提供を、県内市町村や関係機関と連携して、効率的かつ効果的に行う。
- ・県内外に広く「こどもの国」の認知度を高めるために、様々な広報媒体を利用し、PR 活動を展開し、利用促進を図る。

### ■事業計画

事業名	回数	事業概要	会場	備考
ホームページの運営	適宜更新	児童会館施設案内や最新イベント情報を掲載し情報提供する。併せて、移動児童館、団体利用、ボランティア情報、子育て支援事業、県内児童館情報やブログ等を充実させていく。 また、Facebook を活用し児童館活動に役立てる	—	新規
「インフォメーション」発行と報道機関への情報周知	12回	月刊の催し物をまとめた「インフォメーション」を作成し、児童会館の事業案内を一般来館者及び報道機関等に情報提供する	—	
「にこっと通信」発行	4回	児童会館の機関広報誌として、子育て情報等を掲載し、関係機関、団体及び来館者に配付する	—	
事業年報発行	1回	開発実施した事業プログラムや年間事業結果をとりまとめ発行し、関係機関に配布する	—	
誘客キャンペーンの実施	随時	にこっとちゃんの着ぐるみを着用して、県内の大型商業施設や道の駅等において、街頭誘客キャンペーンを行い、集客に努める	県内各地	
行政機関との連携	適宜	市町村発行の広報誌に、児童会館の事業案内やイベント情報等の掲載を依頼し、連携を強化する	—	
民間情報誌への掲載	随時	子育て情報誌や観光案内、新聞折り込み等各種の情報誌へ掲載を依頼し、誘客を図る	—	
内覧会開催	2日	県内及び近県の観光会社やバス会社に向け、利用方法や団体向けプログラムを紹介する内覧会を開催し、団体利用の促進を図る	研修室	新規

## 3 貸出事業

### ・児童会館の施設（多目的ホール・研修室）及び付属設備の貸出

県条例に基づき、有料施設等として、使用の承認と使用料の徴収業務を行う。なお、受付は、ぐんま電子申請等受付システム（ぐんま公共施設予約サービス）の利用ができる。

## 4 地域貢献への取り組み

- ・太田宇宙の会（観望会）
- ・太田神楽（獅子舞上演）
- ・太田子育て支援ボランティアネットワーク（子育てサロン）
- ・太田市出身レーシングドライバーによるイベント開催
- ・太田リーダークラブ（OLCまつり）
- ・ぐんま地域活動連絡協議会（ぐんま母親クラブフェスティバル）
- ・ぐんま昆虫の森
- ・ぐんま天文台（企画投影）
- ・おおた夢工場（がんばれ群馬のものづくり）
- ・群馬工業高等専門学校（科学講座）
- ・県立太田工業高等学校（太工フェア・ロボット教室）
- ・富士重工業（株）（野球、陸上教室）
- ・前橋スベロークラブ（親子スキー教室）

（あいうえお順）